

図1：当科では5mmの細径胸腔鏡を採用しています。10mmのものに比べても必要十分な視野も得られ、小さな傷で済む利点があります。ハイビジョンにも対応しています。

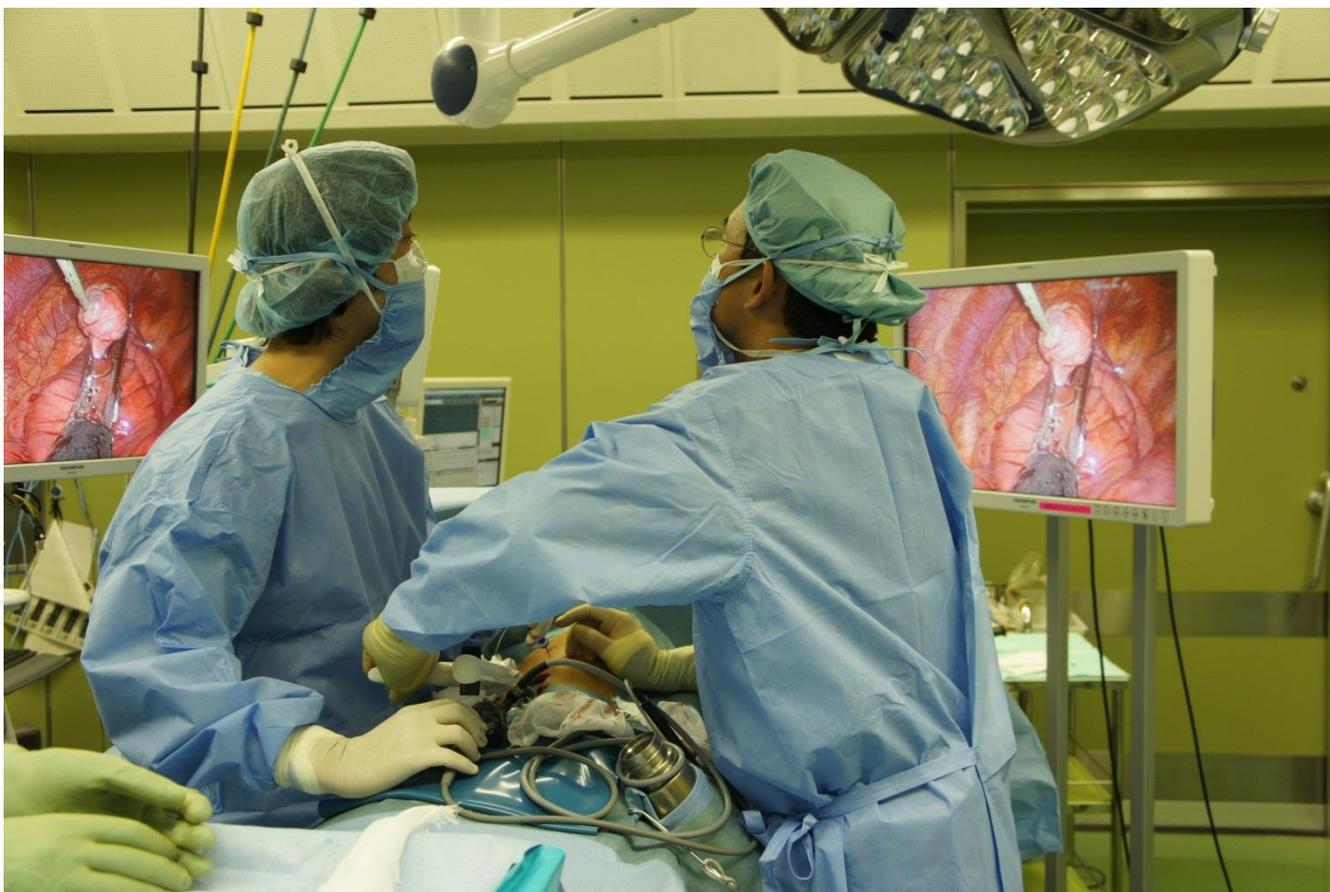


図2: モニター画面を見ながら、胸腔鏡下手術  
(**単孔式**)を行っているところです。

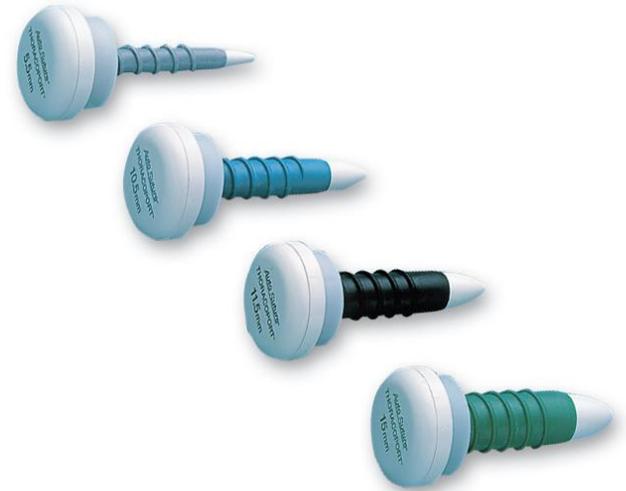
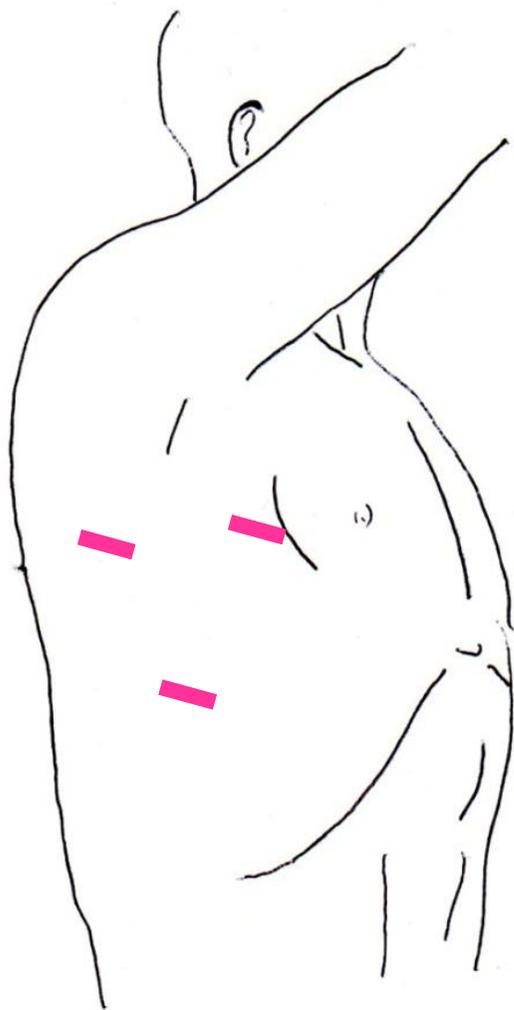
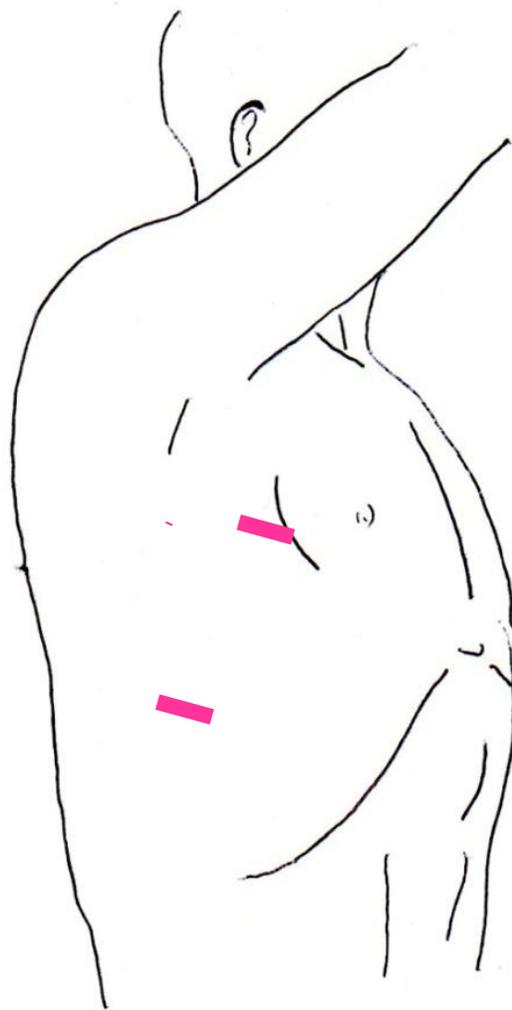


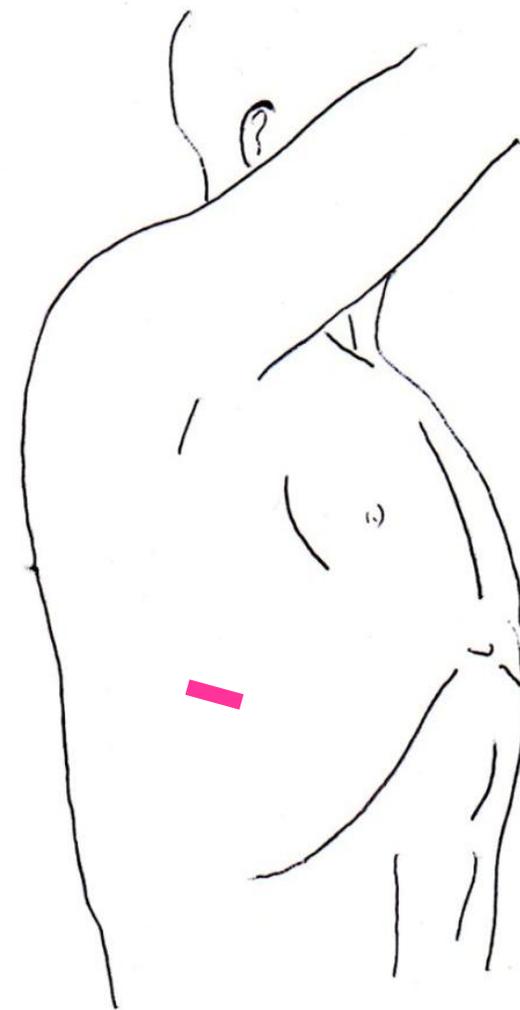
図3: 傷を保護するゴム製のプロテクターやプラスチック製の筒を一時的に留置して手術します。



他院では一般的な3孔式



2孔式



単孔式

図4: 胸腔鏡手術における傷の位置。状況に応じて当科では2孔式、単孔式を採用しています。

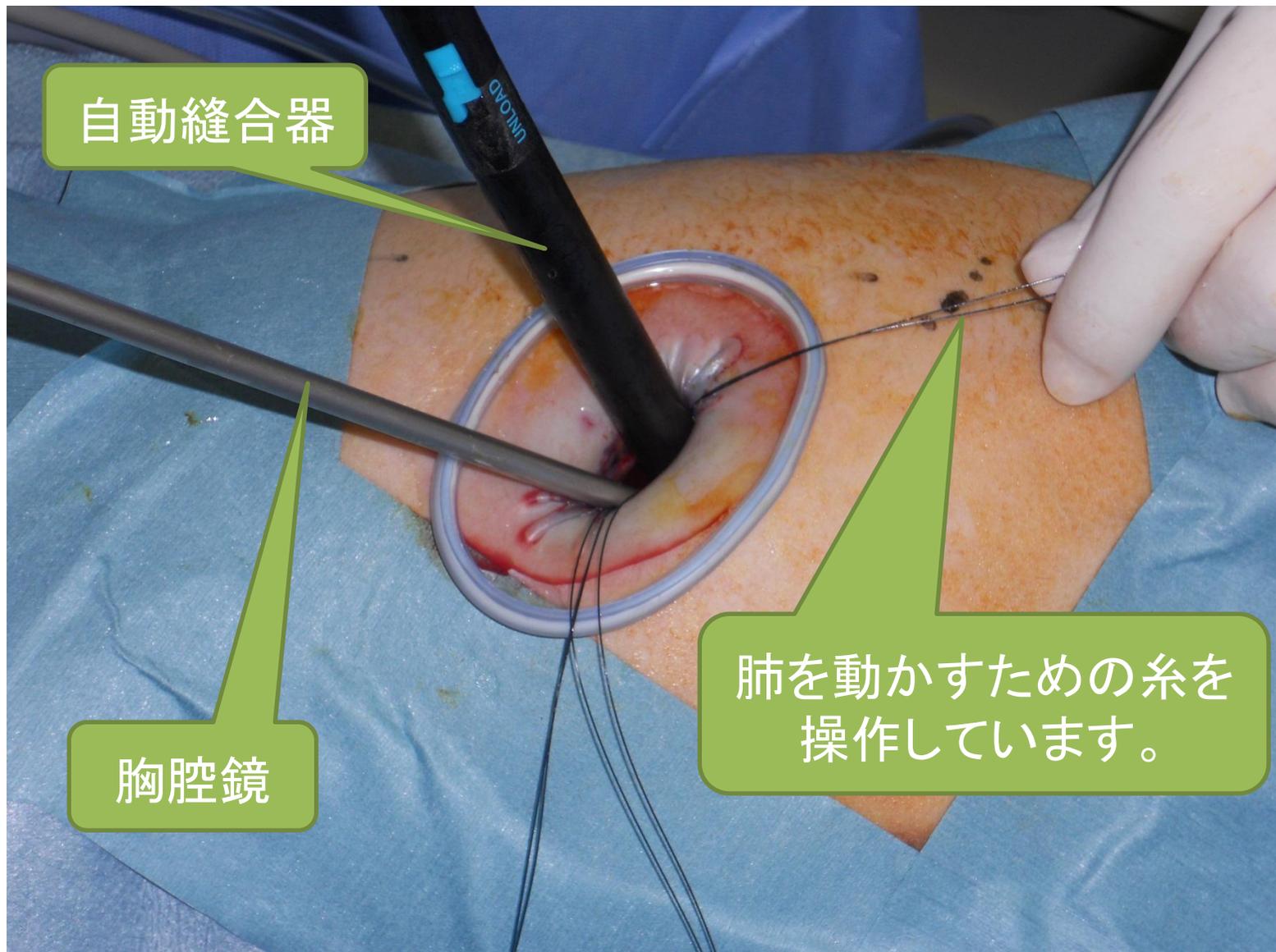


図5: 胸腔鏡下手術(単孔式)を行っているところ



図6: 胸腔鏡下手術(単孔式)後の傷の様子